

# 令和2年度 福島県立保原高等学校 定時制の課程 経営・運営ビジョン

## 教育目標

- I 校訓「質実剛健」「和衷協同」の気風を高め、自主独立の精神に満ちた人間を育成します。
- II 個人の生命と人格を尊重し、健全な心身を持った人間を育成します。
- III 基礎学力を身につかせ、生きる力を持った人間を育成します。

## 基礎学力と社会性を身につけ卒業と自立を果たし、未来を拓く

校長 佐藤 弘樹

定時制生徒にとって、高校の卒業を達成することが社会的自立に向けた第一歩です。

私たち教職員は、少人数である本校の特色を生かし、以下の4つの目標を掲げ、個別指導等のきめ細やかな指導により、生徒一人一人の学業継続、基礎学力の定着・伸長を図り、卒業と進路実現を目指します。さらに、人とのかわり方などの社会性を身に付け、それぞれの未来が拓かれたものとなるよう取り組んでまいります。また、自然災害や感染症への対応など、自分の命を自分で守る判断力と実践力の習得を目指します

## 卒業と社会的自立をめざし未来を拓きます

### 学力向上と学業継続

- 1 生徒の興味・関心を引き出す教材の工夫やTT授業をも含めた分かりやすい授業の実践により、生徒の基礎学力の向上を図ります。
- 2 個人面談や個別指導などを通して、生徒の学業継続に対する丁寧な指導を実践していきます。
- 3 読書指導等を充実させ、読む力や書く力など、就職や進学等の進路希望実現に必要な学力の向上を図ります。

#### 【今年度の重点事項】

- A 生徒個々の課題の共有を進めるとともに、分かる授業の実践に努める。
- B 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業の充実を図る。
- C 互見授業を推進し授業力向上を図る。

### 規範意識と社会性の育成

- 1 規範意識と基本的生活習慣の確立を促しながら、社会性の育成を図ります。
- 2 学校行事や生徒会行事、定通体育大会等を通して、生徒間の連帯意識や友情の育成を図ります。
- 3 健康教室や食育教室等を通し、またスクールカウンセラーと連携しながら、心と体の健全な発達を推進します。

#### 【今年度の重点事項】

- D 個別の相談や指導を充実させ、併せて基本的生活習慣の確立を図る。
- E バランスのとれた心身の形成や健康な生活に必要な知識や知恵を培い、自己管理能力の育成指導に努める。

### 進路希望の実現

- 1 進路情報の提供や進路ガイダンス等を通して、進路意識の高揚を図ります。
- 2 進路教室や個別面談、資格取得の学習を通して、職業観の育成や就職・進学への適性の探求を図ります。
- 3 ハローワークや進路アドバイザー等との連携を進め、就職希望の実現を図るとともに、個別の進学希望の実現も図ります。

#### 【今年度の重点事項】

- F 個別面談等を通して、生徒や保護者に進路情報の提供を行い、進路意識の高揚を図る。
- G 生徒個々の進路達成に向けて組織的で丁寧な支援をする。

### 開かれた学校づくり

- 1 学校見学を広く呼びかけ、積極的に受け入れます。
- 2 学校行事や生徒会行事等における生徒の活躍を、ホームページや報道機関を通して地域に発信していきます。
- 3 学校評議員等による評価を積極的に取り入れ、PDCAサイクルにより、より良い学校を目指します。

#### 【今年度の重点事項】

- H 学校見学を推進し、定時制での学習活動等の十分な理解を得る。
- I 多様な発信方法を用い、正確で効果的な広報に努める。